

# エネルギーを守る人々

## 1.働くおじさんの写真を見せる

子どもたちが感心したのは、「電柱で修理をしているおじさんの写真」と「停電時の訓練をしているおじさんの写真」であった。朝、みんなが寝ているときにも電線の修理をしていることや訓練を何度も行っていることは、「がんばっているんだな」と子どもたちに思わせてくれた。また、子どもたちは鉄塔の上でケーブルを取り付けている写真には、驚きだった。

## 2.電気を送るおじさんのお話

先生ね、東北電力の畠山さんという人に出て、電気のお仕事の様子をインタビューしてきました。どんなお仕事の様子か聞いてみましょう。

### 【インタビューの内容】

●**どんなお仕事をしていますか。**

電線の点検や修理をしています。

●**今までのお仕事で大変だったことはありますか。**

台風19号の時は、大変でした。

3日間、着替えもできず、お風呂にも入ることができずに、仕事をしなければなりませんでした。寝る時間も1日4時間ぐらいでした。どこから手をつければいいのかわからないほどのたくさんの修理を、朝から夜までしました。

電気が来なくて困っている人を前にして、また明日というわけにもいかず、夜もがんばりました。電気がついて「ありがとう」と言われたときは、本当にうれしかったです。

●**どんなことに気をつけてお仕事をしていますか。**

速く、正確に、そしてけがや事故のないように気をつけています。

子どもたちは台風19号の時のお話にびっくりしていた。黒板には畠山さんの写真を貼っておいた。実際に人の話を聞くことは、子どもたちにとってとても効果的な教材だと思った。

### 3.電力会社のおじさんにお手紙を書こう

畠山さんのお話を聞いてどんなことを思いましたか。

- ・畠山さんのような人がいないと町中、事故だらけになってしまう。
- ・電気は働いてくれている人のおかげで使うことができる。
- ・電気を大切にしたいと思った。

「今日の勉強したことや自分がこうしたいなと思ったことを畠山さんにお手紙でしらせましょう」と言って、学習をまとめた。以下に子どもの手紙を掲載する。

畠山さんへ

今日、電気の勉強をしたときに、畠山さんのこえが入っているカセットを藤倉先生に聞かせてもらいました。いろいろ大変なことがいっぱいあったときも命がけで作ったり直したりしてくれて、本当にありがとうございました。これからも電気のお仕事がんばってください。

N.Sより

畠山さんへ

台風の中で3日もみんなの家に電気がくるように工事をしていてすごいですね。畠山さんは4時間しか眠れなくて、だいじょうぶでしたか。

毎日電気を朝から夜までみんなの家におくってくれてありがとうございます。毎日電気が来るようにがんばってください。今から節約して電気を使いたいです。

H.Hより

畠山さんへ

畠山さんは、台風19号がきても仲間といっしょに木を切ったり、電信柱を直してくれてありがとうございました。今でも日本の町中に電気が送られているのは、畠山さんたちのおかげですね。

T.Fより

畠山さんへ

畠山さんは、毎日忙しい仕事があるんですね。大変でしょうね。台風の時4時間しかねていなかったんですね。ぼくたちも電気を無駄遣いしないようにがんばります。これからも仕事をがんばってくださいね。

K.Sより

畠山さんへ

畠山さんは電線などを直したりしているなんてすごいなと思いました。

台風の風やかみなりの時など朝早くから夜おそくまで電気を見ていて大変だと思いました。

台風のときは4時間しかねれなかったなんて本当に大変な仕事だなと思いました。

I.Oより

東北電力のみなさんへ

今日、わかったことは、変電所、てっとう、送電線です。

こんなに大変だとは思いませんでした。

ぼくたちは、こんなに電気を使っていたなんて思いもしませんでした。

家でも学校でも電気を大切に使って電気をもっと使わないようにしたいです。

S.Iより

人に焦点を当てることで、省エネ意識を育てることは可能であり、低学年においても視覚的な教材は、子どもたちに興味と関心を持たせ、考えさせるのに有効であった。視覚的な教材が持っている具体性が有効だったのではないかと考える。教師の発問によって、写真や絵の見えない部分を考えさせることによって授業が深まる。

省エネ意識をどう行動につなげていくか、ライフスキルの授業の開発を進めなくてはならないと思っている。

## 4.第1時限の授業計画

### (1) 第1時限の授業テーマ

#### 「なくてはならない電気」

### (2) 第1時限のねらい

私たちの生活と電気は深く結び付いていて、電気は生活に欠かすことのできないものであることをとらえる。

### (3) 第1時限の実際

学習活動	予想される子どもの反応	指導上の留意点
<p>1. 電気製品クイズをする。 これはなんでしょう。</p> <p>これらの物と同じことは、 何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイロン</li> <li>・CDラジカセ</li> <li>・電話・ミシン・テレビ</li> <li>・プラスチックでできている。</li> <li>・電気を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンポよくすすめる。</li> <li>・よくほめる。</li> <li>・電気の勉強をしていくことを話す。</li> </ul>
<p>2. 電気製品探しをする。 学校・おうち・町の中で電 気を使っている物を探しま しょう。</p>	<p>【学校・家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイロン・テレビ</li> <li>・ラジオ・テレビゲーム</li> <li>・電灯・ストーブ</li> <li>・エアコン・パソコン</li> <li>・電話・エレクトーン</li> <li>・電子レンジ など</li> </ul> <p>【町の中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電灯・信号機・電車</li> <li>・噴水・プール</li> <li>・ナイター照明</li> <li>・遊園地の乗り物 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入させ て、板書させる。</li> <li>・「学校・家庭」「町の中」 と区別して板書させる。</li> <li>・出された電気製品を見て 感想を数人から話しても らう。</li> </ul>
<p>3. 電気と生活の結びつき について考える。 もし、電気がこなくなつた らどんなことが起きるでし ょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームができなくなる。</li> <li>・できないことがたくさん出 てくる。</li> <li>・事故が多くなる。</li> <li>・夜、真っ暗になってしまう。</li> <li>・不便で楽しくなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけおもしろく考 えるように促す。</li> <li>・意見の多様性を認める。</li> </ul>
<p>4. 日本がたくさん電気を 使っていることを知り、 学習をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごい。日本の夜は明るい。</li> <li>・日本だけが明るい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星写真「夜の地球」の ポスターを提示し、日本 地図を重ねて見せる。</li> </ul>

## 5.第2時限の授業計画

### (1) 第2時限の授業テーマ

#### 「電気は人の贈り物」

### (2) 第2時限のねらい

私たちの生活と深く結び付いている電気は、多くの人の努力によって私たちに届けられていることに気づく。

### (3) 第2時限の実際

学習活動	予想される子どもの反応	指導上の留意点
<p>1. 電気の通り道をたどる。 電気のふるさとに向かって旅をしましょう。 写真を順番に並べましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱→変電所→山・鉄塔→発電所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4枚の写真を提示して、順番に並べさせる。</li> <li>・言葉の意味にはこだわらない。</li> </ul>
<p>2. 電気を届けてくれる人の仕事を考える。 発電所の様子です。誰もいませんね。誰もいなくても電気は、自動的におうちまでやってくるんだよね。</p> <p>電気を送るためにどんな仕事をしている人がいると思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動的にやってくる。</li> <li>・うん、そうだ。</li> <li>・違うよ。</li> <li>・働いている人がいるはずだよ。</li> <li>・電線をつけてくれる人</li> <li>・電柱を建てる人</li> <li>・修理する人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの考えを揺さぶる。</li> <li>・出されたことを認める。</li> </ul>
<p>3. 写真クイズをする。 この写真のおじさんは何をしているのですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を送るお仕事</li> <li>・電線を直すお仕事</li> <li>・鉄塔の点検をするお仕事</li> <li>・電線を点検するお仕事</li> <li>・訓練をしているところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の詳細について簡潔に説明する。(仕事内容・時間・季節・場所など)</li> <li>・鉄塔ケーブルの施設の写真を提示して説明する。</li> </ul>
<p>4. 電力会社のおじさんのお話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも訓練しているんだな。</li> <li>・大変なお仕事だ。</li> <li>・危ないこともあるんだな。</li> <li>・おじさんありがとう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は説明を控える。</li> </ul>
<p>5. 電力会社のおじさんにお手紙を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちはどんなことができるかについても、書くようにさせる。</li> </ul>